

2019.6.22 県外研修

1. 研修先はつぎのとおりです。

(1) 「兵庫県広域防災センター」 兵庫県三木市

震度 6 以上の地震の揺れ体験や煙が充満した迷路で避難訓練の他、陸上競技場内の備蓄倉庫の視察を行います。

(2) 「こうべ環境未来館」 神戸市西区

風力発電、屋上緑化、雨水利用、太陽光発電等、環境に優しい施設で地球温暖化防止やゴミ問題などの情報展示や環境学習講座といった研修を行います。

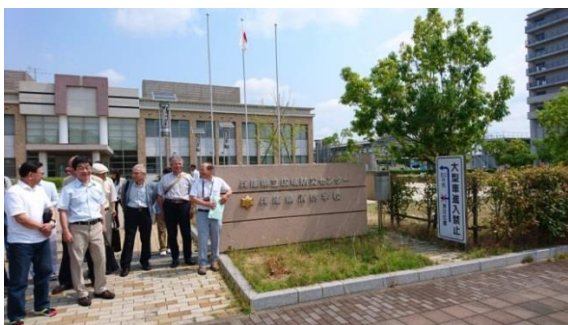
2. 出発

早朝、快晴の中、ご覧のようなバスで 33 人が研修先に向かいました。



3. 兵庫県広域防災センター

渋滞もなくスムーズに最初の目的地の兵庫県防災センターに到着しました。敷地は甲子園球場が 60 個入る広大な敷地で 360 度撮影をしなければ全体が入りませんので正門や学習管理棟の写真を掲載します。この施設は、消防士の方の訓練施設で日々ハードな訓練が行われているとのこと。





(研修)

兵庫県庁の田中氏から施設の概要、最近の災害について非常にテンポよく説明をいただき、楽しく説明を受けることができました。



(煙が充満した迷路の脱出訓練)

部屋の中は煙（訓練なので水蒸気を使用）が充満していますので、出口だけを掲載します。1分30秒以内の脱出はとても難しく、みなさん苦戦されていました。

しかし、実際の煙の場合は、煙を吸い込まないように低い姿勢を取らなければならないのと高熱のため脱出はもっと困難になります。



(地震体験)

「すごい!」「怖い!」の一言です。机が固定されているのでまだなんとか耐えることができましたが、避難どころではありません。実際のケースだと家具が倒れてきたり、モノが飛んできたりし、自分の身を守るのに必死です。

家具の転倒防止等、日頃の備えが大事なことを痛感しました。



写真の人物は、冷静に見えますが、体が激しく上下し、前後に揺さぶられ、必死に机にしがみついております、表情も驚き、恐怖の形相です。

(陸上競技場内備蓄倉庫)

α米、34,000食、毛布64,000枚の他、仮設トイレ、発電機、工具、テント等が巨大なラックにきれいに収納されています。熊本地震等の他府県の震災の供給実績が多々あるそうです。

三木総合防災公園 備蓄倉庫

応急活動要員会議室 控え室等

救援物資仕分け、集配送場所

南サイドスタンド下備蓄倉庫

北サイドスタンド下備蓄倉庫

バックスタンド下備蓄倉庫

備蓄内容一覧 H31.4.1 現在

物資区分	数量
食料(α米)	33,992食
毛布	64,566枚
ビニールシート	3,825枚
仮設トイレ	749基
仮設風呂	15台
紙おむつ	45,770枚
人命救助システム	21セット
船外機付ポート	8艇
パール	5,988本

物資区分	数量
テント	397張
ローラコンベア	45本
台車	78台
投光機	3台
発電機	3台
フォークリフト	5台
要員用仮設トイレ	45基
簡易ベッド	150台

三木総合防災公園





5. 昼食

ネスタリゾートで昼食後、こうべ環境未来館に向かいました。(食事に夢中でネスタリゾートの施設や食事の写真を撮るのを忘れました。すみません。)

6. こうべ環境未来館



併設のリサイクルセンターは、土曜日休業でしたが、神戸市のごみの選別やリユース、リデュースについてわかりやすい説明がありました。

生駒市の選別と異なる点もあり、参加者から活発な質問がありました。

(帰路)

写真は、ありませんが、新名神を利用し、宝塚サービスエリアで休憩し、第2京阪経由で鹿ノ台、高山竹林園、学研北生駒駅、白庭台駅の順番で降車しました。

みなさん、お疲れ様でした！